

1. 科目名 (単位数)	保育実習指導Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	JNPR2515
2. 授業担当教員	山口 恵美子		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>保育実習指導Ⅰで学んだ実習現場の知識及び保育実習への基本的姿勢・基礎知識を基盤として、「保育実習Ⅱ」に必要な専門知識・保育技術及び関連知識を身につけることをねらいとする。現場での実習の充実を図るため、実習の目的や内容を明確にし、言語化、文章化ができるよう事前準備を行う。具体的な取り組みとしては、保育実習Ⅰ(保育所)の総括・評価を行い、自己の新たな学習目標・課題を明確化する。また、責任実習に向けて指導計画の立案とその相互批評を行い、計画を基にした模擬保育などにより実践力を身につける。実習後には振り返りを行い、保育の担い手としての心構えを今一度明らかにする。</p>		
8. 学習目標	<p>「保育実習指導Ⅱ(保育所)」が終了した時点で、下記目標の達成が期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習の意義と目的を理解し、説明できる。 2. 保育実習Ⅰや他教科の内容との関連性を理解し、説明できる。 3. 保育実習Ⅰの総括・評価を通じて保育実習Ⅱに向けた自己の新たな学習目標・課題が明確化される。 4. 実習に直結する具体的な知識・技能を体得し、保育の実際への理解を深め、実践することができる。 5. 責任実習に向けて指導計画の立案演習と模擬保育により、実習への実践的能力が高まる。 6. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育を総合的に省察する能力が身につく。 		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	<p>アサイメント(宿題)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事前学習部分に示された事柄に取り組んだ上で授業に臨む。 2) 授業内で配布するワークシートを仕上げ提出する。 <p>レポート課題設題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「保育実習Ⅱに向けた自己の学習目標と課題」について 2) 「保育士に求められる専門性と役割・自己の目指す保育士像」について 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 『保育実習の手引き』 小櫃智子他『実習日誌・実習指導案 パーフェクトガイド』わかば社、2019年</p> <p>【参考書】 厚生労働省編『保育所保育指針解説書』</p> <p>【教材】 保育実習Ⅰ(保育所)の実習記録(毎回必ず持参すること) ※その他、必要に応じてプリント教材を配布する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業に対する参加態度(出席状況、授業に臨む姿勢、個別学習・グループ学習における課題への取り組み)は意欲的であったか。 2. 提出物の期日は順守できたか、取り組みの内容は十分なものであったか。 3. テーマに沿って分かりやすい表現・明瞭かつ論理的なレポートを作成できたか。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業態度(欠席、遅刻、途中退出含む) 50% 2. 提出物(提出期限厳守)とその内容 20% 3. 期末レポート 30% <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。 以上の結果を総合して評価をする。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>保育実習は、これまで履修した科目の学習を前提として行われます。今までの学習全てを現場でフル活用していく心構えで授業に臨んで下さい。さらに実習終了後は、実習での学びを活かして今後履修する科目の学習の糧にしていって欲しいと願います。実際に子どもの目の前に立つ皆さんは、子どもにとってひとりの大人のモデルとなります。保育者は全人格を問われる職業であることを自覚して、実習事前・事後それぞれに自己課題を明確にもって向上していけるよう頑張ってください。日々の弛まぬ努力を期待しています。</p>		
13. オフィスアワー	授業内で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	<p>支援室より配属先発表、調書配布。 オリエンテーション(授業概要と進め方、望ましい学習態度について)、学習グループの編成 保育実習Ⅰの省察(実習記録をもとに、グループディスカッションし、実習での問題点を探り、考察をする)</p>	事前学習	「保育実習指導Ⅱ」の学習ノートを準備して講義に臨むこと。自己の実習記録を読み直して問題点を学習ノートにまとめる。
		事後学習	反省から次の実習目標を立てる。
第2回	<p>保育実習Ⅰの省察のグループ発表(問題提起を含む)。 質疑応答と考察により問題を共有化する。グループごとに各自の必要とする学習課題と内容について討議を行い発表に向けて、自主学習し発表準備をする。</p>	事前学習	前回講義の際に行ったディスカッション内容を復習し、質疑に備える。
		事後学習	自己の問題点に向き合い今後の学習課題を明確に整理する。
第3回	<p>第2回講義に引き続き、各自の学習課題と内容についてグループ学習し発表に備える。(発表の形式を分りやすく工夫する。)</p>	事前学習	分りやすい発表への工夫を考えておく。
		事後学習	明確になった学習課題に向き合い考察を深め次回の発表につなげる。

第4回	学習した内容をグループごとに発表し、質問に答えることにより学びあい、保育実習への理解を深める。	事前学習	発表内容を復習し、質疑に備える
		事後学習	他のグループからの学びも含め、この授業で得られた学びについて明らかにする。
第5回	部分・責任実習への構想と考察 保責任実習のための指導案作成練習を行う。(グループ学習)	事前学習	主活動や「朝の会」「帰りの会」について構想を立てておく。
		事後学習	指導案の役割や求められる内容について整理する。
第6回	責任実習指導案発表と考察	事前学習	発表内容を復習し、質疑に備える。
		事後学習	他のグループからの学びも含め、この授業で得られた学びについて明らかにする。
第7回	実習日誌の書き方を再検討する。最終実習にふさわしい実習記録の記述とは何か、グループ内で検討し合い、考察する。	事前学習	自己の実習記録を読み直し記録上の問題点を探しておく。
		事後学習	新たに配られた実習記録簿について、事前に記入すべき箇所を確認し、記入する。
第8回	保育実践上の事例研究① 保育事例をDVD視聴し、実習生として望まれる態度を理解する。	事前学習	保育所保育指針第1章総則を読み、要点を学習ノートにまとめる。
		事後学習	DVD視聴やグループ討議からこの授業で得られた学びについて明らかにする。
第9回	保育実践上の事例研究② 保育事例をDVD視聴し、実習生として望まれる態度を理解する。	事前学習	前回講義の際に学んだことを復習しておく。
		事後学習	DVD視聴やグループ討議からこの授業で得られた学びについて明らかにする。
第10回	模擬保育準備 「朝の会」「帰りの会」等、責任実習中の場面を想定し、模擬保育を行う準備を進める。	事前学習	第6回講義の際に作成した指導案を復習しておくこと。
		事後学習	発表に備え、練習を繰り返しておこなうこと。
第11回	責任実習模擬保育の実践と考察	事前学習	役割分担の確認を行っておくこと。
		事後学習	実践と考察からの学びについて整理する。
第12回	保育実習Ⅱの省察① ・グループディスカッション。	事前学習	自己の保育実習Ⅱの体験振り返りを事前に行っておくこと。
		事後学習	グループ内での話し合いから学んだことを整理する。
第13回	保育実習Ⅱの省察② ・前回のグループディスカッションの続きと発表準備。	事前学習	前回のグループ記録に目を通し復習しておく。
		事後学習	自分たちのグループが伝えたいことを明確化し、整理する。
第14回	保育実習Ⅱの省察③ ・グループごとに話し合った内容の発表、質疑応答、考察による体験の共有化	事前学習	前回のグループ記録に目を通し復習しておく。
		事後学習	他のグループからの学びも含め、この授業で得られた学びについて明らかにする。
第15回	「保育実習指導Ⅱ」のまとめ 保育士に求められる専門性と役割について、さらに自己の目指す保育士像について考察し、授業のなかでレポートを作成する。	事前学習	1～14回の授業を通しての学びを踏まえ、保育実習全体を振りかえっておくこと。
		事後学習	保育士を目指す者としての心構えをもう一度明らかにする。